

# 伊勢山皇大神宮挙式要項

(令和元年9月より)

## ○誘導ならびに介添について

- 1、誘導担当とアテンド（新婦介添）の、最低二名の付き添いが必要となります。
- 2、車両の手配状況を一ヶ月前までにご連絡下さい。当宮駐車場に警備員が配置されている場合は、その指示に従って頂きます。大型バスの駐車スペースはございません。また、その他の車両でも挙式執行中に駐車場内で待機できない場合があります。なお、挙式の参列者が、自家用車を当宮に駐車することはできません。
- 3、ご新郎ご新婦さまとご参列の皆さまは、挙式開始の30分前に控室へ入場します。この時刻までには、皆さまが到着されているようにお願いします。なお、参列者の受付所を設置することはできません。受付用にテーブルの貸し出しも行っておりません。
- 4、控室では親族の紹介や記念撮影よりも、お二人への作法説明と定時の神殿への移動を優先とします。
- 5、到着時刻が遅れた際には、お二人への説明や親族さまへの接遇などを略することがあります。また、控室を使用せず直接神殿にお進み頂く場合もあります。参列者に遅刻者がいる場合は、必ず社務所へご連絡下さい。
- 6、参列の予定者が皆さまお揃いでなくても、定時に挙式を開始させて頂きます。開始時刻を遅らせることはできません。
- 7、ご親族・ご友人方の誘導（控室への入場、神殿への移動等）は、貴社の誘導担当にお任せします。
- 8、アテンド（新婦介添）担当の方には、新婦の介助（参進時の袂取、着席の手伝い等）をお任せします。詳細は「挙式での介添の役割について」をご確認下さい。
- 9、ロビーや誘導経路において、他の婚礼の列とすれ違う場合もあります。その際はお互いに十分なお配慮をお願いします。

## ○美容室の使用について

- 1、当宮美容室の使用を希望される場合には1ヶ月前までに予約（美容会社名・連絡先）が必要となります。また初めて当宮美容室をご使用になる業者さまは、予約時にお申し出下さい。なお、事前の予約が無い場合には、美容室の使用はできません。
- 2、美容室は、午前9時・午前9時30分開始の挙式を除き、挙式開始の2時間半前からご使用頂けます。午前9時・午前9時30分の挙式に関しては、ご相談下さい。
- 3、美容室で着付けを行うのは、ご新郎ご新婦さまのみに限らせて頂きます。ご親族やご友人の着付けは、お断りしております。
- 4、美容室は、何組か一緒にご使用頂く場合もあります。
- 5、当日の使用開始前には、社務所にて手続きをして頂きます。
- 6、使用後には清掃を行った上で、社務所にて手続きをして頂きます。

## ○カメラ・ビデオの撮影について


- 1、殿内での撮影は、カメラ担当者・ビデオカメラ担当者それぞれ1名まで可能とします。
- 2、撮影担当者は、当宮の定める撮影規則を確認し、厳守して頂きます。本殿挙式と神楽殿挙式では規則が異なります。詳細は別図「挙式撮影位置」をご確認下さい。
- 3、挙式に際して、撮影規則を確認されていない、あるいは違反された場合は、撮影を中止させて頂くこともあります。
- 4、挙式の前後に境内で撮影を行う事は可能です。但し、他の婚礼の方や参拝者には十分にご配慮下さい。また境内や施設を占有しての撮影はできません。挙式前に撮影をされる場合には、控室への入場時間に遅れないようお願いします。
- 5、美容室内での撮影、また境内でのドローンの使用は禁止とします。

○挙式前撮、和婚ロケーション撮影について

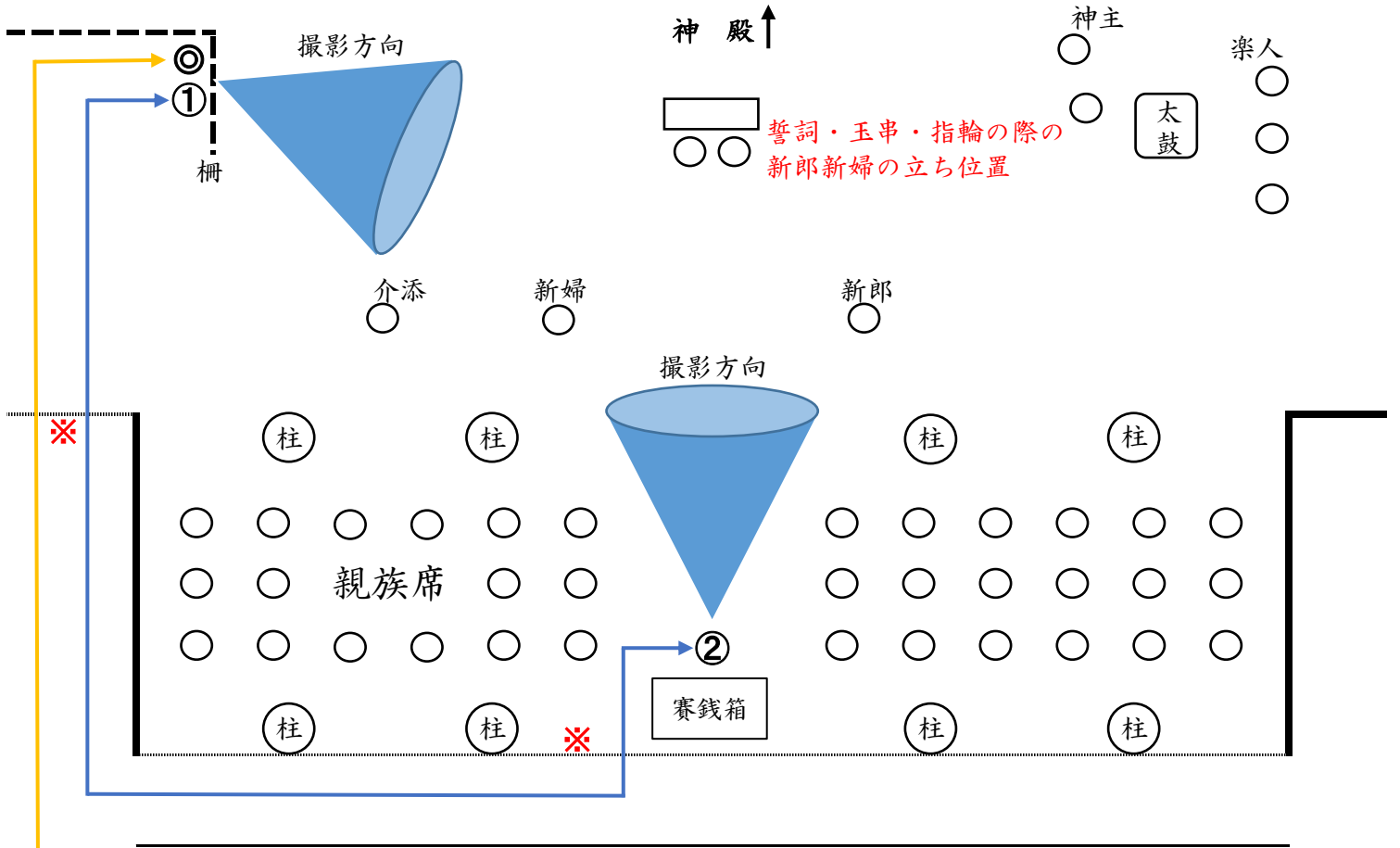
- 1、必ず業者さまより、事前に境内撮影許可をご提出頂きます。社務所までお問い合わせ下さい。
- 2、当宮での挙式を行なわない方の撮影の場合は、撮影当日にご祈祷（初穂1万円より）をお受け頂きます。
- 3、当日受付の際に腕章をお渡ししますので、撮影中は着用して下さい。
- 4、境内の占有はできません。一般の参拝者、また挙式等には十分ご配慮下さい。
- 5、ドローンの使用は禁止です。
- 6、無許可での商業撮影は固くお断りさせて頂きます。

## 挙式での介添の役割について

### <式次第>

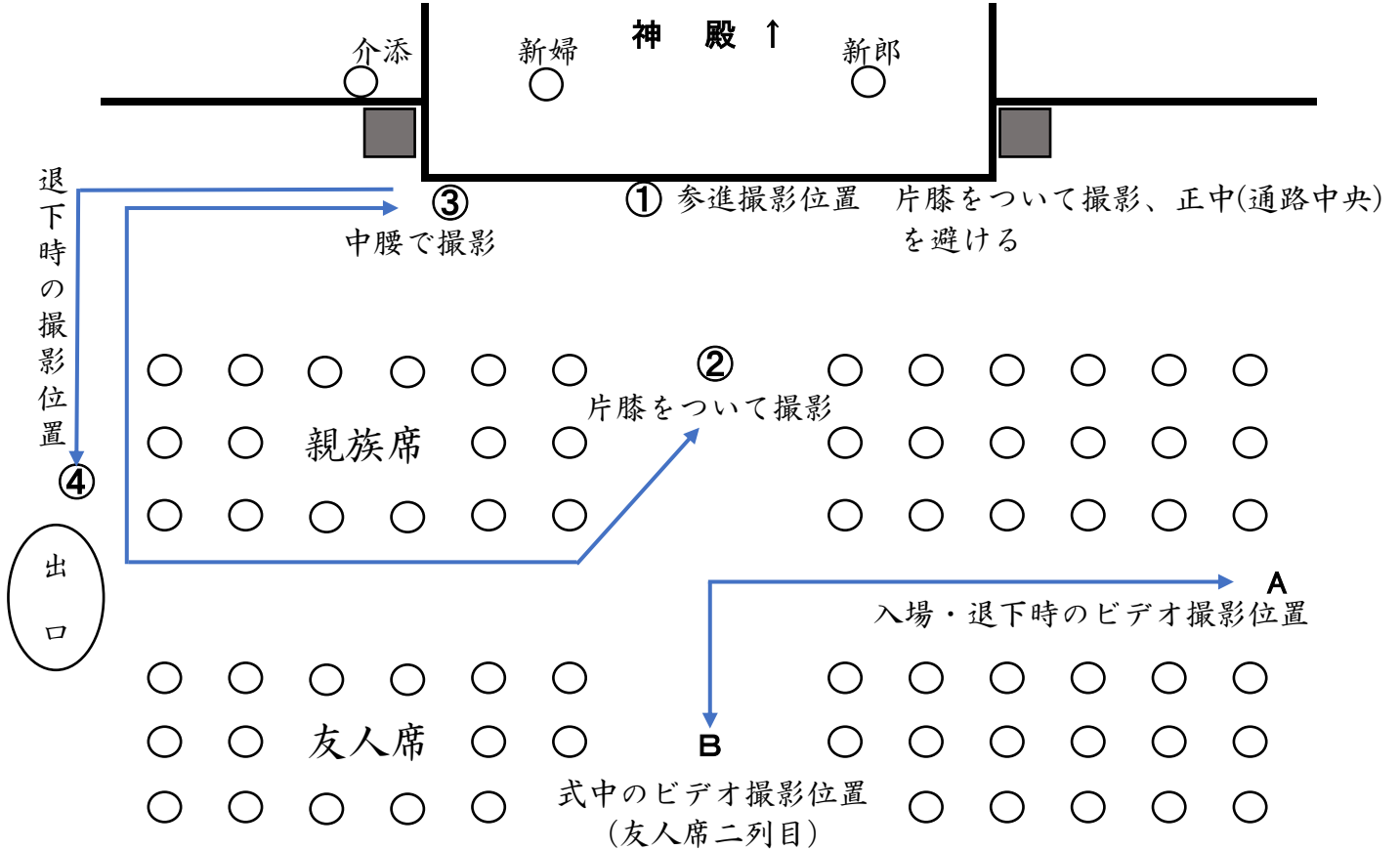
- 控室
- 挙式開始10分前に巫女の先導で新郎新婦が出発
  - ・新婦をおからげ、または褌取りの姿にする
  - ・新郎に扇子を持たせる
- 参進
- ・《本殿式》新婦が大階段を上る際に介助する
  - ・《本殿式》雨天時は新婦に傘を差し掛ける
- 入場着座
- ・《神楽殿式》新婦が舞台へ上がる際に介助する
  - ・新婦が自席に座るのを介助する
  - ・扇子を新郎の腰に差す
  - ・新婦後方の介添席に座る
- 修祓  
祝詞奏上  
誓詞奉読  
三献の儀  
玉串奉奠  
指輪交換
- 
- この間の新婦の補助は巫女が行う
  - ・介添は自席で親族の動きに倣う（起立、低頭、着席）  
※玉串奉奠時の二礼二拍手一礼はしない
  - ・終えて新婦が自席に戻った際に着席を介助する  
※指輪交換を行わない場合は、玉串奉奠の終了後すぐに新郎新婦は自席に戻る
- 巫女舞奉奏
- ・介添席で待機
- 親族固めの盃
- ・新婦が自席で起立、また着席の際に介助をする
- 退下
- ・新婦をおからげ、または褌取りの状態にする
  - ・《本殿式》雨天時は新婦に傘を差し掛ける
- ※挙式中に新郎新婦の着付けが乱れた際には速やかに直す  
※神楽殿式に於いて舞台上の木の床は土足で踏まない  
(介添席前にカーペットが敷いてあるのでそこに足を置く)

# 本殿式撮影位置 写真(①②)・ビデオ(◎三脚に固定)



- 挙式中の写真・ビデオの撮影は、それぞれ一名のみ許可します。
- 撮影は、上図の通りに定められた位置からのみとします。
- 祭場への出入り時(※の位置)には神殿へ向かい一礼して下さい。
- 挙式中のビデオは、必ず三脚に固定してから撮影して下さい。
- 修被・祝詞奏上の際には、参列者と一緒にご低頭下さい。
- 式次第の赤字の部分撮影可能とします。
- 写真撮影は、1シーン5カットまでとし、連写はお控え下さい。

# 神楽殿式撮影位置 写真(①②③④)・ビデオ(A B)



④	・	③	②	②	③	②	③	・	・	・	①	式
A	・	B	B	B	B	B	・	・	・	・	A	次
退	記	親	巫	指	玉	三	誓	祝	献	修	入	第
下	念	族	女	輪	串	献	詞	詞	饌	被	場	と
	品	固	舞	交	奉	の	奉	奏			着	撮
	授	め	奉	換	奠	儀	読	上			座	影
	与	の	奏									位
		盃										置

- 挙式中の写真・ビデオの撮影は、それぞれ一名のみ許可します。
- 撮影は、上図の通りに定められた位置からのみとします。
- 写真撮影位置を移動する際は、身を屈めて下さい。
- ビデオカメラには必ず三脚を御使用下さい。
- 修被・祝詞奏上の際には、参列者と一緒にご低頭下さい。
- 式次第の赤字の部分撮影可能とします。
- 写真撮影は、1シーン5カットまでとします。
- 神楽殿内は音が反響します。カメラの連写は控えて下さい。